

令和7年度版 総合計画の進行管理及び課題管理シート（令和6年度の振り返りと令和8年度の取組検討）

施策No	231	施策名	文化芸術活動の推進	施策の目的	●文化芸術に触れる機会を提供し、市民の文化芸術活動の活性化を図ります。 ●文化財や郷土芸能の活用を促進し、市民の理解を図ります。 ●文化芸術活動の拠点となる施設を安全で安心して利用できるよう、施設の適切な維持管理に努めます。
関係課	文化推進課、文化財課				

1. 進行管理

(1) 指標の実績・考察と目標年度（令和7年度）の目標値達成見込み

指標	単位	実績基準値		実績値		見込値	目標値	最終年度（R7）の目標値達成見込	R6年度の実績説明・考察及びR7目標値達成見込判断の理由		
		R2	R3	R4	R5				R4	R5	R6
a 文化活動を行うが、美術館等での講演・展示会などに参加・鑑賞している人の割合	%	39.3	44.2	43.1	47.9	47.4	58.0	58.0	②現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み）	アフターコロナの生活が定着してきた中で、文化活動が本格的に再開、イベントが増加傾向にある。	
b 市内の文化財、郷土芸能を知っている人の割合（天明鑄物）	%	69.4		72.5	72.9	74.2	77.0	77.0	②現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み）	各種PR事業実施や生産用具の国重文指定などにより、メディアでの掲載回数が増加したことにより、市民の認知度向上につながっている。	
c 施設利用者の満足度の割合	%	84.6	84.9	83.3	86.0	80.3	86.0	87.5	④現在の想定では目標達成が困難	文化会館の利用者が、休館のため、あくとプラザを利用した場合などは、文化会館を利用できないこと自体が満足度を下げた要因の一つと推察される。あくとプラザにおいても、質の高いサービスを提供する。	
d											

(2) 構成する事務事業の昨年度（令和6年度）の取組結果 ※効果が上がった、下がったの判定は、事業効果を説明する指標のR5との比較となります。

①施策関連区分A（実施計画事業）

【効果が上がった事業】

No	事業名	事業効果を説明する指標	単位	事業費（単位：千円）			効果説明		
				R4	R5	R6	R4	R5	R6
1	天明鑄物のまちづくり推進事業	天明鑄物を知っている割合	%	72.5	72.9	74.2	548	1,766	5,071

【効果が下がった事業】

No	事業名	事業効果を説明する指標	単位	事業費（単位：千円）			効果説明		
				R4	R5	R6	R4	R5	R6
3	文化会館リニューアル事業	文化会館利用者数	人	103,573	155,994	0	18,008	10,653	95,584

②施策関連区分B（実施計画事業以外）

【効果が上がった事業】

No	事業名	事業効果を説明する指標	単位	事業費（単位：千円）			効果説明		
				R4	R5	R6	R4	R5	R6
9	佐野市に関する美術作品等調査研究事業	展覧会で新しい情報を提示できた作品数	点	40	178	334	28	39	204
		解説パンフレットや図録などの発行回数	回	1	0	1			
14	美術館運営協議会運営事業	意見・助言数	件	5	5	6	46	46	61

【効果が下がった事業】

No	事業名	事業効果を説明する指標	単位	事業費（単位：千円）			効果説明		
				R4	R5	R6	R4	R5	R6
4	佐野市郷土芸能保存会連絡協議会支援事業	事業（フェスティバル、学校訪問）の延べ来場者数、参加者数	人	450	600	250	600	600	600
		事業（フェスティバル、学校訪問）への子どもの参加人数	人	127	85	85			
5	佐野市文化協会支援事業	文化協会の正会員数	人	1,244	1,250	1,161	2,174	2,474	2,474
		市民文化祭への参加・入場者数	人	5,317	7,182	6,009			
6	全国大会等出場者支援事業	文化活動に参加・鑑賞している人の割合	%	43.1	47.9	47.4	80	60	35
7	牧歌舞伎地元公演支援事業	地元公演の来場者数	人	600	-	600	270	0	270
		牧歌舞伎を知っている割合	%	34.9	36.7	35.2			
8	文化施設指定管理事業	文化会館利用件数	件	751	1,003	0	115,189	115,699	72,327
		あくとプラザ利用件数	件	247	222	336			
8	文化施設指定管理事業	文化施設利用者の満足度	%	80	80	63			
15	美術館講座等開催事業	参加者に対する市民の割合	%	80	63	42	96	46	64
		満足を感じた人の割合（アンケート回答より）	%	100	93.8	76.0			

(3) 基本方針の取組状況

①特に実績をあげている取組（計画初年度（令和4年度）以降の取組状況）

②未着手等計画通りではない取組（及び今後の対応）

・美術館と連携し、市民が芸術に触れる機会を確保します。 (吉澤記念美術館において、東京国立博物館から国重文指定のエラスムス立像や天明鑄物の燈籠をはじめとする作品の貸与を受ける特別企画展を開催し、本市の豊かな文化芸術と歴史に触れる機会を創出した。)	・佐野市文化協会や公益財団法人佐野市文化振興事業団との連携を図り、文化の担い手となる人づくりを進めます。 (文化協会は、自立化と若年層の加入促進の取組への支援が引き続き必要である。)
・貴重な文化資源である天明鑄物、牧歌舞伎、菜蟲譜等を積極的に活用することにより、地域の活性化につなげます。 (天明鑄物は、令和5年に地域団体商標登録、令和6年に生産用具及び製品の国重文指定が実現し、地域活性化につながる新たな契機となった。)	・貴重な文化資源である天明鑄物、牧歌舞伎、菜蟲譜等を積極的に活用することにより、地域の活性化につなげます。 (天明鑄物の認知度向上のために、PR活動を継続するとともに、外部の意見を積極的に取り入れ、新商品開発を進める。)
・文化芸術施設の改修及び設備の更新等を計画的に行い、適切な管理・運営に努めます。 (民間活力を活かしたDBO方式による文化会館リニューアル事業に着手した。)	

(4) 令和6年度行政経営方針の取組状況

①令和6年度行政経営方針

②令和6年度行政経営方針の取組状況

・本市ならではの「天明鑄物」、「牧歌舞伎」、「菜蟲譜」等の文化資源をより多くの市民が郷土の財産として誇りを持てるよう、紹介などの取組を進める。 ・利用者に安全・安心で快適な環境を提供するため、文化施設の適切な維持管理に努めるとともに、PFI法に準じたDBO方式による文化会館の大規模改修は、事業者の業務進捗について適切な監理監督を行う。 ・佐野市文化協会、公益財団法人佐野市民文化振興事業団のほか、市内の各種団体と連携し、より多くの市民が文化芸術に親しむ機会を充実させる。 ・地域団体商標として登録された「天明鑄物」の認知度向上のため、鑄物事業者や佐野市天明鑄物振興協議会と連携し、各種展示会への出展や新商品開発等の検討を進めるほか、産業、観光やスポーツ面での連携、活用を進める。 ・子どもの頃から良質なものに触れ、文化芸術に親しむ大人に育つよう、アーティストが学校を訪問する「アウトリーチ事業」を有効活用する。 ・吉澤記念美術館の収蔵作品の画像化を順次進め、デジタルコンテンツとして新たな魅力発信を進める。	・牧歌舞伎地元公演会（10月13日開催、観覧者約600人） ・DBO方式による文化会館リニューアル事業の実施 ・市民文化祭（前期6部門・後期9部門）、両毛五市美術展（12月4日～8日開催、入場者数468名）の開催 ・天明鑄物のまちづくりとして、美術館の「丸山瓦全と佐野のお宝保護作戦」展と連携し、若手鑄物師によるワークショップや作品展示を実施した。また、市天明鑄物振興協議会では、都内での展示商談会に出展するほか、新商品の試作を行った。 ・子どもふれあい文化芸術事業10校14回実施 ・吉澤記念美術館収蔵作品21点を、県の事業を活用しデジタル化した。

<tbl_r cells="2" ix="1" maxcspan="1" maxrspan="